



今年もおく
お観します!!



初春のお慶びを申し上げます

皆様の御健勝をお祈り致します
 本年も宜しくお観い申し上げます

令和八年 元旦

新年明けましておめでとうございます
 本年も子供たちとともに
 頑張りますので
 応援をお願いします
 令和八年 元旦

北中生足のおおん 新年明けましておめでとう!!
 お正月は、ゆくり家族と過ごせましたか? 私は今年、家族で
 ひかり増えて初めの正月でした。愛知から弟の家族も合流し、
 にぎやかに過ごせました。毎年恒例とある家族
 新春初打ち(ゴルフ)は、2日に予定にしていたが朝
 から雪が降り残念ながら中止になりました。新春初打ち
 はなかったものの、新春初雪は楽しむことができました。
 月初詣は、地元の新社まで昔はランニングで行っていたが
 そんな気はもうなくて、車でお参りしていました。いつもと変
 わらぬ新年のスタートでしたが、家族でいろいろと楽し
 んで感じるのは時間と過ごせました。やはり「家族
 っていいですね。」ふるさとっていいですね。
 私の2026年のスタートは、おれんじとくを!!

継続は力なり

みなさん、新年あけましておめでとう。年末年始は、各家庭で大掃除をしたり、玄関先の松飾や餅を備えたりと、いろいろ忙しかったのではないのでしょうか。家庭ごとの習慣や地域の風習などは様々ですが、この時期に住まいをきれいにしたり、飾り付けをしたりするのは、年神様を迎えるためです。昔の人は祖先の霊が田の神や山の神になり、正月には年神となって、子孫の繁栄を見守ってくれるのだと考えていました。そこで、たくさんの幸せを授かるために、年神様をお迎えしてお祝いする様々な風習や行事が生まれたと言われていいます。

日本という国は、昔から宗教にとっても寛容なところがありました。例えば、クリスマスの日にはクリスマスケーキを食べ、正月は初詣に神社へ出かけ、8月はお盆でお寺やお墓参りをする。これらのことが日常、当たり前となっています。神様の存在を信じるかどうかは個人の判断ですが、**新しい年を迎えることを大きな節目と考えることは大切**です。「**一年の計は元旦にあり**」という言葉聞いたことがありますか?。元旦は一年の最初の日の朝のことです。「計」には計画という意味があります。つまり、**ことに当たっては最初にしかりとした計画を立ててから臨むことが大切**だという意味になります。

少しだけ私の話をします。私は小学校5年生の時に転校した経験があります。父が新しいところに家を建てたからです。ちょうど冬休みでした。引っ越す前に、隣の家のおばちゃんからプレゼントをもらいました。それは**1冊の日記帳**でした。それまで日記とか書いたことがなかったし、引っ越しで新たな環境に飛び込むことにもなったので、年明けからやろう!と決意し、**1月1日から日記をスタート**させました。何気なく始めた日記でしたが、なんとそれから、中学、高校、大学生になっても続けました。大学を卒業して就職したら、仕事のきつさに耐えきれず、とうとうやめてしまいましたが、それでも**10年間日記を書き続けることができました**。おかげで、「**文字を書く**」という作業を苦痛に感じる経験はあまりせずすみしました。

「一年の計は元旦にあり」君たちは元旦の朝、元旦に新たな気持ちで、自分自身の目標を立てましたか?どんな小さなことでも構いませんので、**是非具体的な行動目標を立てて、まずは1年間継続させてみてください**。きっと何かしらの発見があるかもしれません。私の場合は「日記」でしたが、10年継続したことで、得るものは本当に多かったです。「**継続は力なり**」まさにその通りだと思います。

さあ、2026年がいよいよスタートです。**1年生は、先輩になる準備を、2年生は、学校の顔になる準備を、そして3年生は胸を張ってこの学校を巣立つ準備を**してください。

【2026年1月7日 後期後半 校長あいさつより】